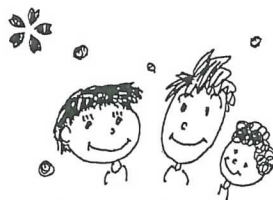


# よりそう



第24号

(5/23(月)の宿泊:153人,活動:18人)

編集責任:水野

## 傷だらけの王冠

陸前高田市米崎町にある田んぼで、一本のサイダーが発見された。ボランティアも支援に訪れたあの神田ぶどう園で製造されたものだったが、現在ぶどう園には津波の影響でサイダーが一本もないそうだ。容器には多くの外傷が見られるが、破損はないため中身は無事である。

このことや、高田松原の「希望の一本松」のようにたくさんの仲間を失っても強く生き抜いている姿を見ると、残された者がどのような姿でこれから生きるべきか、

改めて考えさせられるようになる。傷だらけの王冠がしっかりと緑色の瓶を握っているその姿は私たちへのメッセージのようにも思える。(記者:ペコ)



## リピート山中さん “ヨーデル” のタベ

5/22 遠野市総合福祉センター

リピート山中さんが長男のMagumaさんと来館。歌とおしゃべりでボランティアを応援してくださいました。

大ヒット曲『ヨーデル食べ放題』のココロは、「焼き肉屋さんの帰り道の幸せ」です。私たちも合いの手で参加。まさに音楽三昧のタベとなりました(昨日の号も要チェック!)。ご出身は神戸。阪神大震災も経験。被災者が、自らつらい経験をしつつ笑顔で周りをお世話する姿に、涙が出たといいます。また、仮設住宅で一人暮らしをする方々にとって、ペットはとて大きな支えとなったそうです。喜多方や名取、遠野と北上するツアーでは、『ワンダフル・パートナー』に乗せ、“パートナー”の大切さを伝えました。

## 稲荷下倉庫の物資支援

遠野市の稲荷下屋内運動場には、日曜日とあって、大船渡市、陸前高田市、大槌町などから多くの来訪者があつた。ここは支援物資の倉庫であり配給拠点でもある。会場前には、朝9時ごろから支援物資を求める方々の列が

できた。とくにお米(5kg)・塩・砂糖・しょうゆなどに人気があり、物資の在庫がことごとく減少して、すぐ欠品になってしまう。必要なものを十分手に入れられずに帰られる場合も多かった。

仮設住宅の建設も道半ば。お元気なようすでも気持ちは暗いという方々も、多くいらっしゃる気配があつた。(5/22、岐阜県出身・加納圭三)

## 笑顔の見送り

避難所生活をしている方々のために作る昼食。それが目的で一生懸命に働いている5人のメンバー。朝の9時から作業を開始し、予定表通りに一步一步前へ進む。今日のメニューは色とりどり。ご飯を始めに、カボチャの煮物、卵焼き、おひたし、最後にサンマの塩焼き。食べられる方々に「喜んでもらいたい!」という願いを込めて、がんばって作った料理。調理の後は盛りつけ、その後は配膳、山ほどの洗ひ物。ずっと作業をしていたため、避難所からいらっしゃった方々のリアクションを見逃してしまい、残念な気持ちでした。休憩をとり自分たちがお昼を食べた後の3時過ぎに皆様の見送りに外に行きました。



来てくださった方々が全員バスに乗り込んで出発する際、みんなニコニコしながら一生懸命手を振ってくださったので、「ありがとう、ありがとう」という思いが伝わってきました。その瞬間「今日は良い仕事をしたな」と思い、うれしさが込み上げて、自分も笑顔で強く手を振りました。

(記者:米国出身、Itoshi)

### お知らせ

- \*ゴミの分別が変りました。プラスチックは燃えるゴミと一緒にになりました。
- \*水光園温泉ツアー、お弁当の注文が開始されることになりました。→詳しくは受付まで。

5/24(火) 天気 曇時々晴

気温 10℃~17℃

降水確率 0%~10%

5/24(火)ボランティアミーティングはPM5:30~@体育館

編集担当者 金野・筒井・星野・吉田